

学術論文のバージョンとプレプリント をめぐる動向

INFOSTA_OUGライフサイエンス分科会

2021年11月18日

国立情報学研究所

オープンサイエンス基盤研究センター

尾城 孝一

学术论文のバージョン をめぐる動向

学术论文のバージョン

学術論文のバージョンをめぐる問題

研究の過程で、**さまざまなバージョンの学術論文**が生まれ、さまざまな場所で公開されているが、これら複数の**バージョンを示す用語**や、**バージョンを区別するための基準**が現在まで統一されていなかった

プレプリント

ポストプリント

VOR

著者原稿

AM

出版社版

著者版

著者最終稿

最終確定版

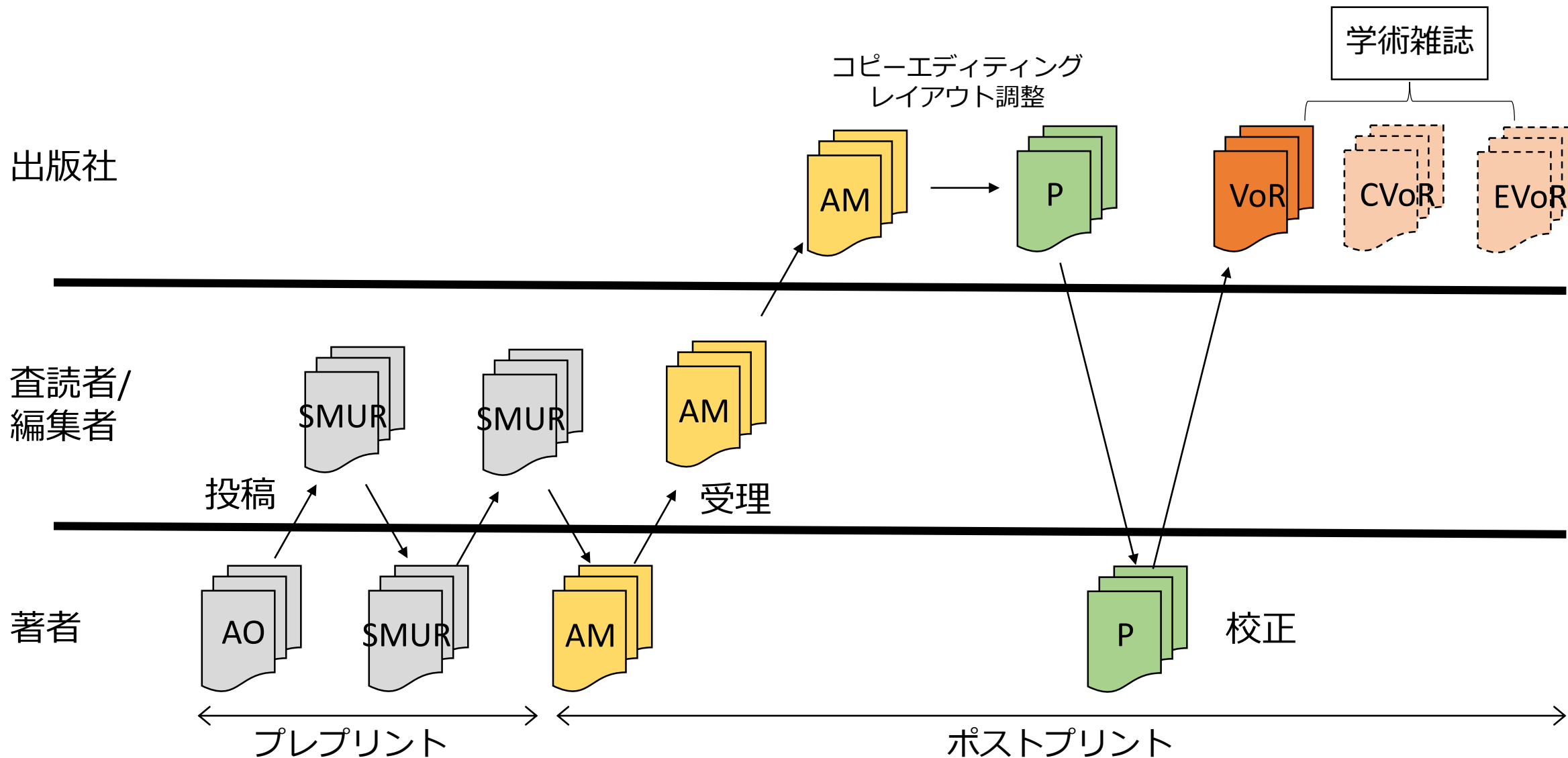
NISO/ALPSP作業部会

- 米国情報標準化機構（NISO）と学協会出版社協会（ALPSP）は、ジャーナル論文バージョン作業部会（NISO/ALPSP JAV Technical Working Group）を設立
- 2008年4月、ジャーナル論文バージョンの分類と定義に関する勧告レポート“Journal Article Versions (JAV) : Recommendations of the NISO/ALPSP JAV Technical Working Group”を発表
- 論文の執筆、編集、流通、出版、検索、利用などにおける一連の電子化に伴い、論文が複数のバージョンを持つことや、それらバージョン情報の詳細や関連性が不明瞭であることなどを指摘したうえで、7つのバージョンを設定し、定義

NISO/ALPSPが定義するバージョン

AO = Author's Original	著者のオリジナル原稿
SMUR = Submitted Manuscript Under Review	査読中の投稿原稿
AM = Accepted Manuscript	受理された原稿（著者最終稿）
P = Proof	校正中の原稿
VoR = Version of Record	記録のバージョン（出版社版）
CVoR = Corrected Version of Record	修正された記録のバージョン
EVoR = Enhanced Version of Record	改良された記録のバージョン

出版プロセスとバージョン



VoR（学術の記録のバージョン）

「ジャーナル論文の確定版で、出版社が、正式かつ独占的に「出版された」と宣言することで利用可能となったもの」

（NISO/ALPSP Journal Article Versions (JAV) Technical Working Group recommendations）

- 学術研究の公式の、唯一の記録としてのバージョン
- ジャーナルおよび出版社にとっての価値の源泉

VoRをめぐる論争 (出版社 vs 学術コミュニティ)

cOAlition S - Plan S

- 2018年9月、欧州の研究助成機関がcOAlition Sを結成
- 2021年1月以降、完全にして即時のOAを要求し、Plan Sの原則とガイドラインを公表

3つのルート

1. OA出版（ジャーナルとプラットフォーム）	著者は、オープンアクセスジャーナルまたはオープンアクセスプラットフォームで出版
2. 購読誌（リポジトリ）	著者は、購読誌に論文を発表し、VoRまたはAMのいずれかをリポジトリでオープンに公開
3. 購読誌の転換（転換契約）	著者は、転換契約の下、購読誌でOA論文を出版

<https://www.coalition-s.org/>

cOAlition S 「権利保持戦略」 (2020.7)

ゼロ・エンバーゴでグリーンOAを可能とするための戦略

- cOAlition Sの研究助成の条件
 - 著者（又はその所属機関）は、オープンアクセス要件に準拠するために十分な知的財産権を保持する
 - 著者（又はその所属機関）は、研究論文のAMまたはVoRを、エンバーゴ期間なしに、CC BY相当のライセンスの下で利用可能とする

- 出版社への通達
 - cOAlition Sは、出版社にこの助成条件を通達する
 - 著者は、助成金のOA条件に従い、この投稿から生まれたAMまたはVoRには、CC BYまたは同等のライセンスが適用されていることを、投稿レターにより出版社に伝える

出版社の反発

(2020.12.4)

Open post: The rise of immediate green OA undermines progress (11の出版社の連名)

「即時グリーンOAは進歩を阻害する」

(2021.1.12)

Case for Gold Open Access (Springer Nature社のCEO)

「ゴールドOA擁護論」

(2021.2.3)

Signatories publish statement on Rights Retention Strategy (STM)

「権利保持戦略に対する声明」

出版社の主張の要点

- 真のフルオープンリサーチに移行するためには、ゴールドOAを通じて研究者や読者が品質保証された付加価値のあるVoRに出版後即時にアクセスできるようにする必要がある
- エンバーゴなしの即時グリーンOAは、劣悪なバージョンの原稿（すなわち、AM）で学術的記録を混乱させ、オープンサイエンスの実現を遅らせる
- 無料の代替物の提供が購読料や論文処理費用（APC）による収入を脅かし、OA誌の財政的な持続可能性を損なう
- 学術の記録の基礎であるVoRの完全性を傷つける



ゼロエンバーゴのグリーンOAによりVoRの価値が下がり、その結果自らのジャーナルポートフォリオの価値も下がり、購読料やAPCといったジャーナルからの収入が減少することをおそれる

Springer Nature社の調査

「VoRに対する研究者の選好を探る」

Lucraft, Mithu; Allin, Katie; Batt, Imogen (2021): Exploring researcher preference for the version of record. figshare. Journal contribution.

<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.13834532.v1>

- OA論文の複数のバージョンがある場合、大多数の研究者はVoRを選択する
- 研究者はVoRを読み、引用することを好む
- VoRは読みやすく、信頼性が高いと研究者は考えている
- 研究者は、AMやプレプリントではなく、VoRを見つける方法を探す傾向が強い
- 代替バージョンにも価値はあるが、使用には注意が必要
- 大多数の研究者が、VoRを最も権威があり信頼できる情報源と考えている

学術コミュニティからの反論

(2020.12.11)

Correcting the Record: The Critical Role of OA Repositories in Open Access and Open Science (COAR)

「オープンアクセスとオープンサイエンスにおけるOAリポジトリの重要な役割」

(2021.2.18)

Persistent Identifiers Connect a Scholarly Record with Many Versions (ARL)

「永続的識別子は多くのバージョンを持つ学術の記録を結びつける」

(2021.2.3)

cOAlition S response to the STM statement: the Rights Retention Strategy restores long-standing academic freedoms (cOAlition S)

「権利保持戦略は学問の自由を復元させる」

学術コミュニティの反論の要点

- AMは劣ったバージョンではなく、VoRと同等の内容を持つ
- VoRは印刷物の時代の産物であり、研究者がプレプリントを素早く共有し、オープンにレビューやコメントをし、論文が継続的に更新、修正、拡張されるウェブ対応のダイナミックな環境では、無用の長物となっている
- VoRの価値を生み出す査読は、学術コミュニティが自発的にやっている
- VoRに対する出版社の関心は、その学術的な価値ではなく、ビジネス上の利益を反映したものである

VoRとプレプリントの比較

「科学雑誌に掲載された論文とそのプレプリント版の比較」

Klein, M., Broadwell, P., Farb, S.E. et al.

Comparing published scientific journal articles to their pre-print versions.

International Journal on Digital Libraries. 20, 335–350 (2019).

<https://doi.org/10.1007/s00799-018-0234-1>

手法

- 対象論文の抽出
 - arXiv.org (物理学その他) のプレプリントと最終出版版 約10,000件
 - bioRxiv (生物学) プレプリントと最終出版版 約2,300件
- 抽出された論文のプレプリントと出版された論文 (VOR) のタイトル、抄録、本文の類似性を以下の5つの指標を用いて測定
 1. レーベンシュタイン距離 (文字の挿入、削除、置換などの編集上の介入の量)
 2. レングス (論文の長さの比較)
 3. ジャックカード係数 (文字列の類似性)
 4. セーレンセン係数 (文字列の類似性)
 5. ペアワイズコサイン類似度 (意味的な類似性)

比較結果

	タイトル	抄録	本文
arXiv	学術論文のタイトルはプレプリントと最終的な出版物の間で目立った変化がない	抄録に適用されたアルゴリズムは、非常に高い類似度を示す値を返す	分析された本文セクションの95%は、適用されたいずれの測定においても高い類似度スコアを持つ
bioRxiv	学術論文のタイトルがプレプリントと最終公開版の間で顕著に変化することはほとんどない	すべての類似性尺度が抄録に対して非常に高いスコアを示す	編集レベルでもセマンティックレベルでも、差別化された特徴をほとんど示さない

結論

「今回使用した論文集合体の範囲内では、プレプリントとそれに対応する最終公開版の論文（VOR）の間には大きな違いがない」

VoR (Version of Record) からRoV (Record of Versions) へ

“Open Access in theory and practice”

「21世紀初頭の学術コミュニケーションの中心的手段であるジャーナルの号に掲載された論文は、紙の世界から派生したコミュニケーションの様式です。その固定性と平面性は、かなり時代遅れのように見えます。今や学術コミュニケーションは、成熟度の異なるアウトプットを共有し、継続的に更新されるデータ、シミュレーション、ビジュアライゼーション、そしてコメントや解釈を組み合わせた、よりフローに近いものになる可能性を秘めています。」

Stephen Pinfield, Simon Wakeling, David Bawden, Lyn Robinson. Open Access in Theory and Practice. Routledge. 2020. p. 25
<https://www.taylorfrancis.com/books/oa-mono/10.4324/9780429276842/open-access-theory-practice-stephen-pinfield-simon-wakeling-david-bawden-lyn-robinson>

COAR（オープンアクセスリポジトリ連合）

「VoRは、研究者がプレプリントを素早く共有し、同僚研究者がオープンにレビューやコメントをし、論文が継続的に更新、修正、拡張されるウェブ対応のダイナミックな環境（これらのことはリポジトリのルートを通じてサポートされ、進められます）では、ますます無用の長物となっています。印刷物の時代に培われた、Version of Record（記録のバージョン）という時代遅れの概念から脱却する時が来ているのです。」

Correcting the Record: The Critical Role of OA Repositories in Open Access and Open Science (COAR)
<https://www.coar-repositories.org/news-updates/correcting-the-record-the-critical-role-of-oa-repositories-in-open-access-and-open-science/>

ARL（北米研究図書館協会）

「かつては出版され、印刷された研究論文が研究の権威ある情報源であったのに対し、新しい出版方法や他の研究成果物（他のバージョン、プロトコル、データ、コードなど）の出版により、「記録のバージョン（version of record）」という用語は全く無意味なものになってしまいました。学術コミュニケーションの世界は「複数のバージョンの記録（record of versions）と呼ばれるものに移行しています。」

ARL Blog. Persistent Identifiers Connect a Scholarly Record with Many Versions. 2021.2.18
<https://www.arl.org/blog/persistent-identifiers-connect-a-scholarly-record-with-many-versions/>

学術の記録はVoRからRoVへ

- 紙の時代には、学術の唯一の記録はジャーナルに掲載されたVoR
- しかし、デジタルの時代には、研究のプロセスの中で生まれたさまざまなバージョンの論文を記録することが可能に
- さらにオープンサイエンスの潮流の中で、論文に留まらず、研究データ、ソースコード、プロトコルなども含めて、多様な学術の成果を記録するRoV (Record of Versions) * という考え方が誕生

* ユトレヒト大学図書館のBianca Kramerが最初に提唱したらしい？

NISOの2008年勧告の改訂に向けた動き

最初の勧告の公表以来、出版の実践は急速に変化している。例えば、プレプリントは多くの分野で出版形態としての重要性を増しており、出版社も研究の継続性を保つための新しい方法を模索するようになっている。論文のすべてのバージョンは重要であり、引用可能となっているため、**単一の「記録のバージョン (VoR: version of record) 」**という概念はあまり意味を持たなくなっている

- ワーキンググループの立ち上げを決定 (2020.11.16)
 - バージョンはどのように定義するのか？
 - 一つの論文に対して、バージョンに関係なく一つのDOIを割り当てるべきか？
 - それとも、バージョンごとに異なるDOIを設定すべきか？
 - 複数のDOIを付与した場合、そそれはどのように関係づけられるのか？

NISO Voting Members Approve Work to Update Journal Article Versions (JAV). 2020.11.16
<http://www.niso.org/press-releases/2020/11/niso-voting-members-approve-work-update-journal-article-versions-jav>

プレプリントをめぐる動向

プレプリントとプレプリントサービス の簡単な歴史

プレプリントとプレプリントサービス

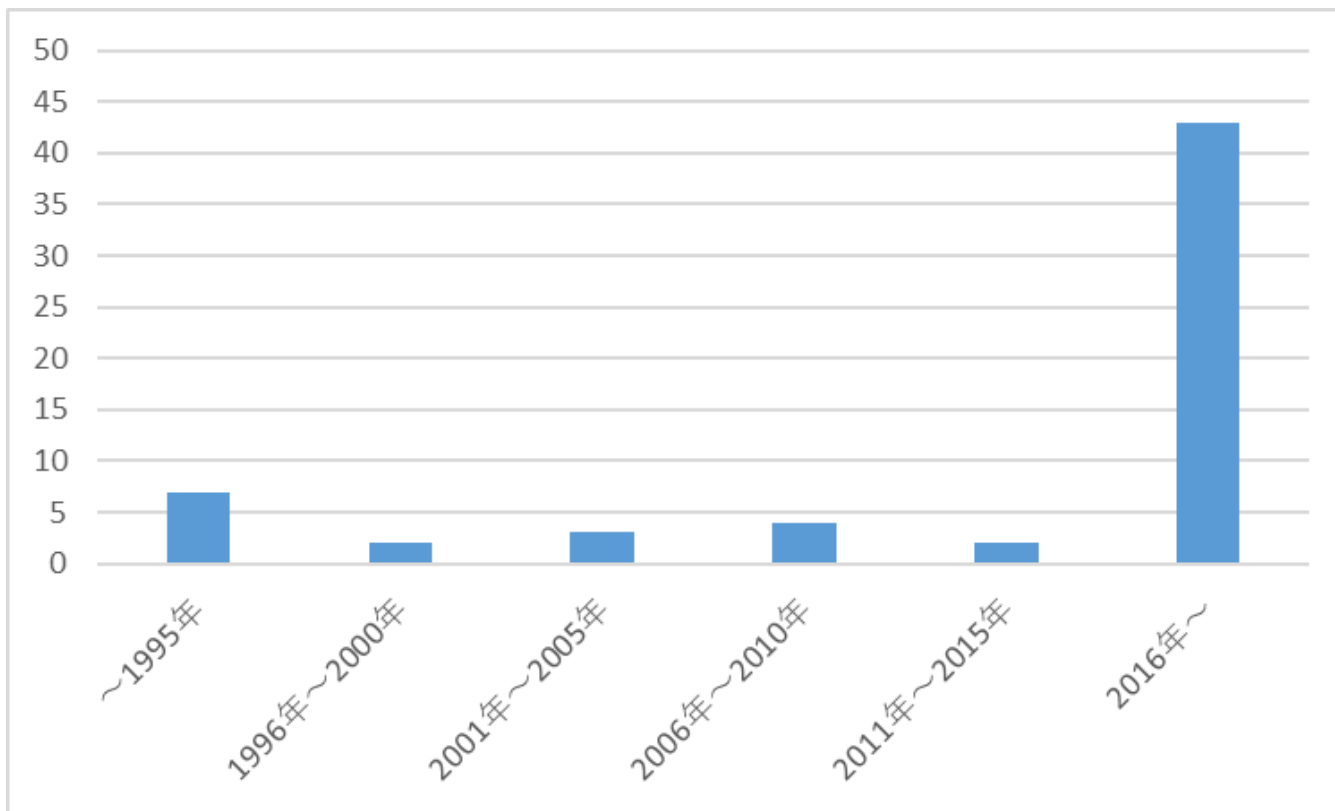
- プレプリントとは、学術雑誌の査読を通過する前の論文原稿
- プレプリントサービスとは、プレプリントの投稿を受け付け、公開するプラットフォーム（プレプリントサーバ）

プレプリントサービス（第1の波）

1991年	物理学分野のLANL preprint archive（現在は、コーネル大学のarXiv.org）
1994年	社会科学分野のSSRN（Social Sciences Research Network）
1997年	経済学分野のRePEc（Research Papers in Economics）

プレプリントサービス（第2の波）

プレプリントサービス数（設置年による集計）



- 2016 年以降、さまざまな学問分野や地域に根ざしたプレプリントサービスの設置が進む
- 全体の70%を超えるサーバが2016 年以降に活動を開始

Martyn Rittmanのオープンデータによる

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/17RgfuQcGJHKSsSJwZZn0oiXAnimZu2sZsWp8Z6ZaYYo/edit>

第2の波はなぜ起こったのか？

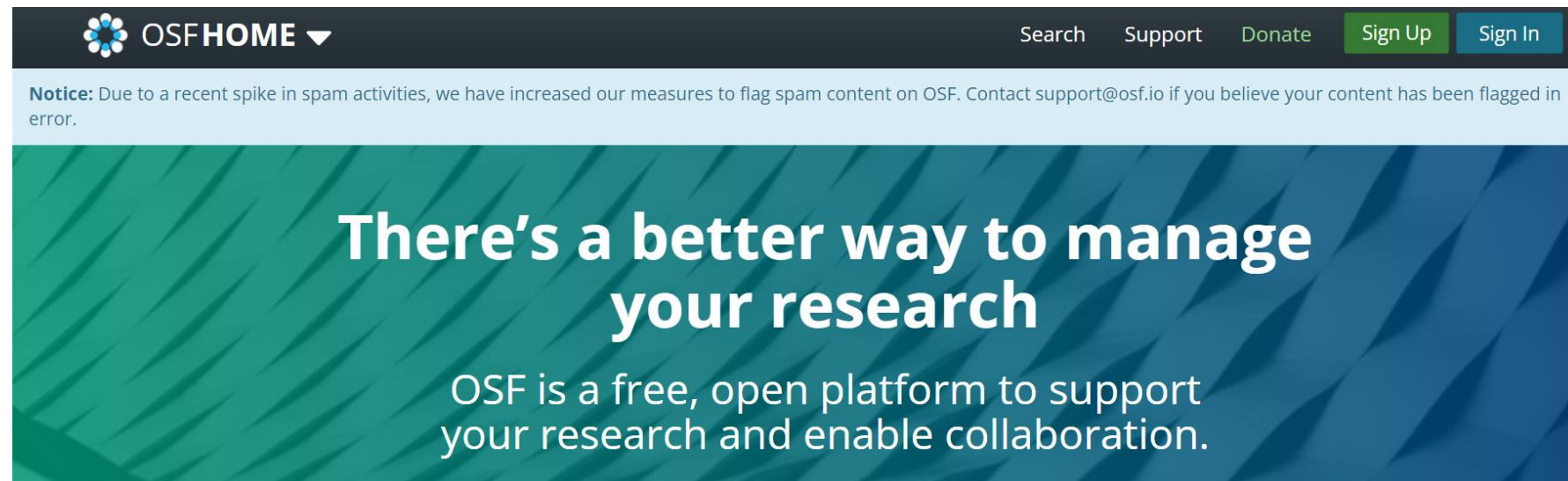
1. 研究者にとっての利点
2. OSF (by COS) の活用
3. 出版社と学術雑誌のポリシーの変化

1. 研究者にとっての利点

- 研究の早期段階の成果をより多くの研究者に対して配信することができる
- 特にキャリアの浅い研究者や、新規の分野に移ってきた研究者は、研究成果の可視性を高めることができる
- 幅広い研究コミュニティからのフィードバックを得ることができる
- 発見とアイデアのプライオリティ（先取権）を確立することができる
- 研究コミュニティ内で共有とコミュニケーションの文化を醸成する
- 著者は無料で成果を公表し、一方、読者も無料で読むことができる

2. OSF (by COS) の活用

- Open Science Framework (OSF)
 - 米国の非営利団体Center for Open Science (COS) が開発
 - 研究プロジェクトの活動を管理するためのオープンソース
- プレプリントを登録し、発信するサーバとしての機能も具備



<https://osf.io/>

3. 出版社と学術雑誌のポリシーの変化

(これまで)

「インゲルフィンガー・ルール」に代表されるように、多くの学術雑誌は、プレプリントとして発表された論文を先行出版と見做し、投稿受付を拒否することが一般的

(現在は)

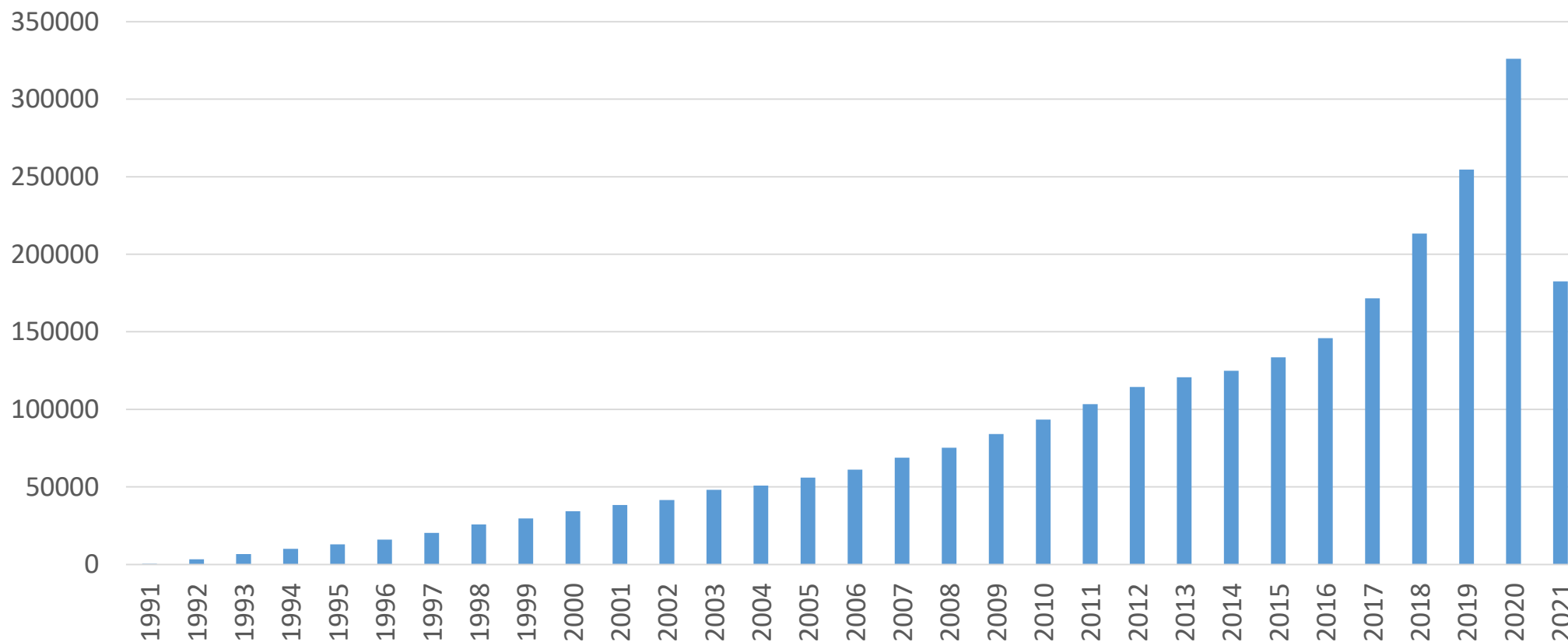
プレプリントとして発表された論文の投稿を認める方針を示す出版社が大半を占める

Wikipedia. List of academic publishers by preprint policy

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_academic_publishers_by_preprint_policy

プレプリントとプレプリントサービス に関するいくつかのデータ

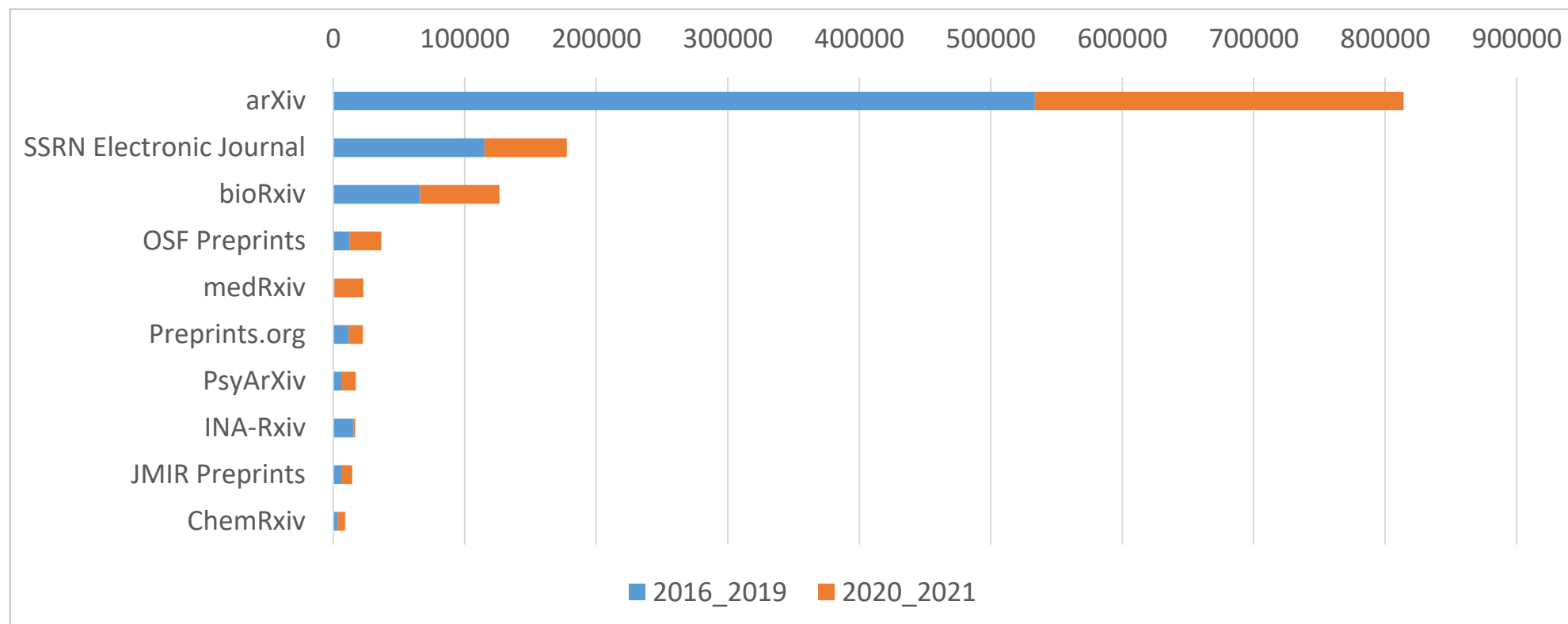
年別プレプリント投稿数推移



Norimasa Nomura.

Supporting datasets for the article published at The Journal of Information Science and Technology Association, Vol. 71, Issue 9.
 J-STAGE Data, URL: <https://doi.org/10.50934/data.jkg.15088080>

プレプリントサービス別投稿数

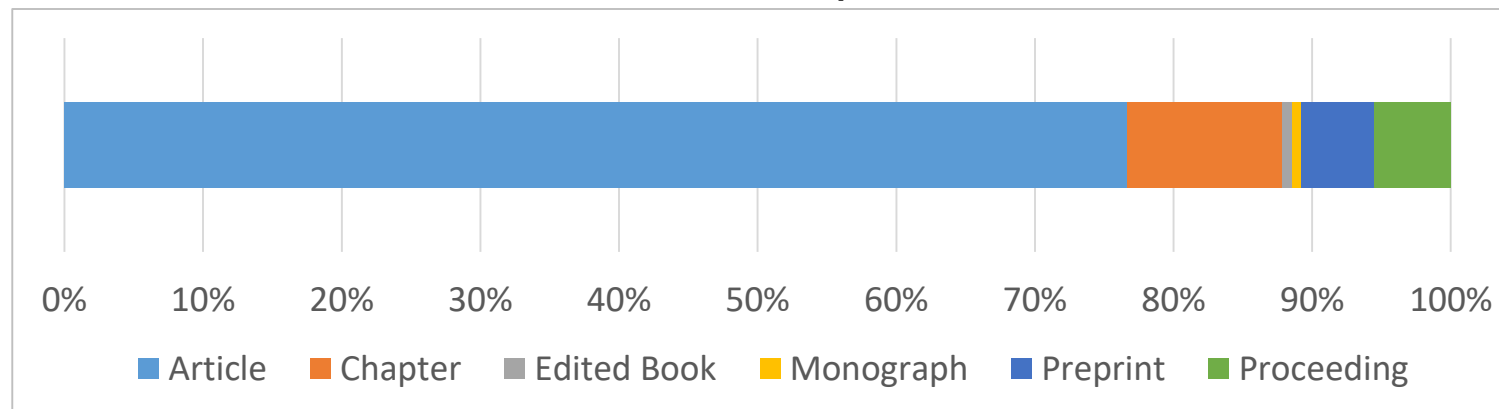


Norimasa Nomura.

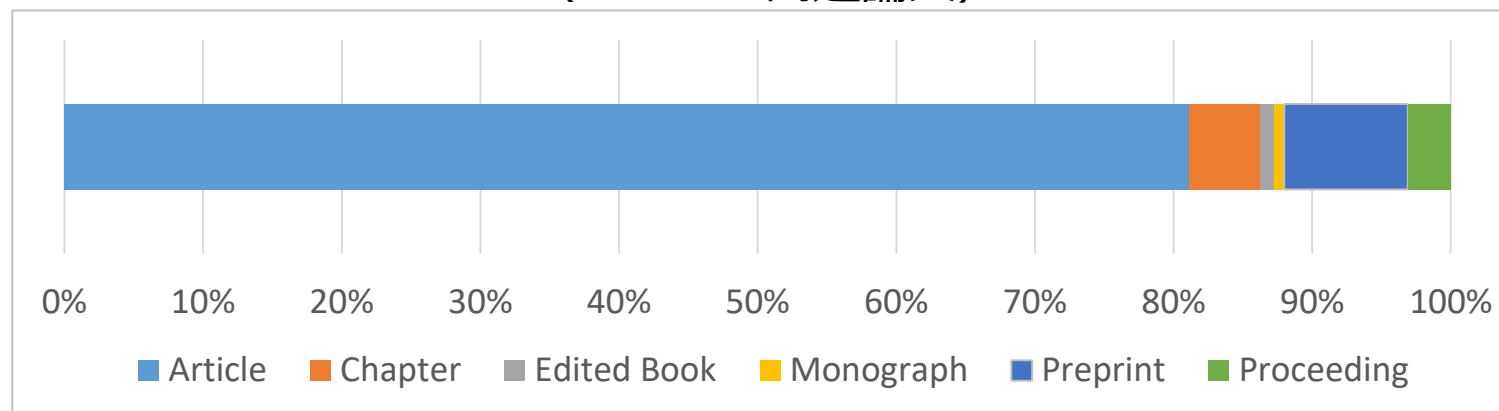
Supporting datasets for the article published at The Journal of Information Science and Technology Association, Vol. 71, Issue 9.
 J-STAGE Data, URL: <https://doi.org/10.50934/data.jkg.15088080>

COVID-19関連論文のプレプリント割合

(全論文)



(COVID-19関連論文)



Norimasa Nomura.

Supporting datasets for the article published at The Journal of Information Science and Technology Association, Vol. 71, Issue 9.

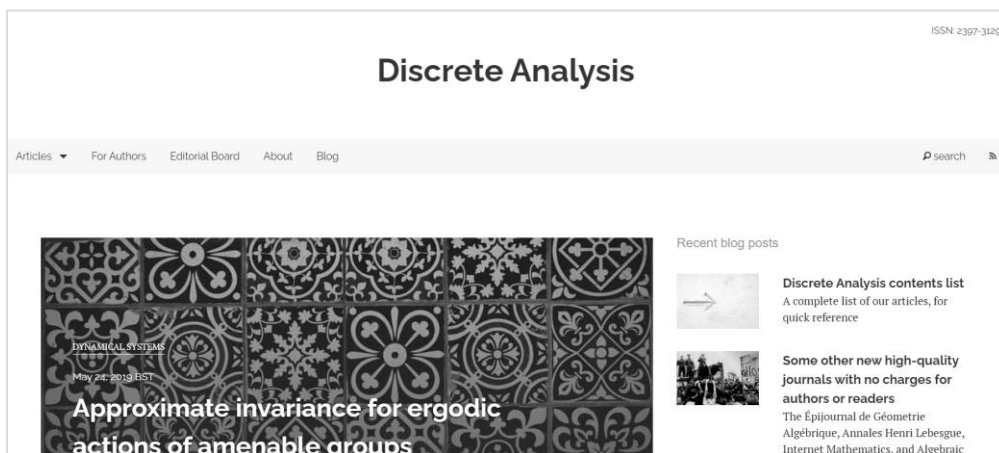
J-STAGE Data, URL: <https://doi.org/10.50934/data.jkg.15088080>

プレプリントの新たな風景

オーバーレイジャーナル

- LANL preprint archiveの創設者であるPaul Ginsparg が提唱
- プレプリントのコレクションの上位レイヤに査読の仕組みを持つ仮想的な学術雑誌
- 自ら論文ファイルを持つことはなく、プレプリントサーバ等に蓄積された論文へのリンク情報（Table of Contents）のみを保持

Discrete Analysis



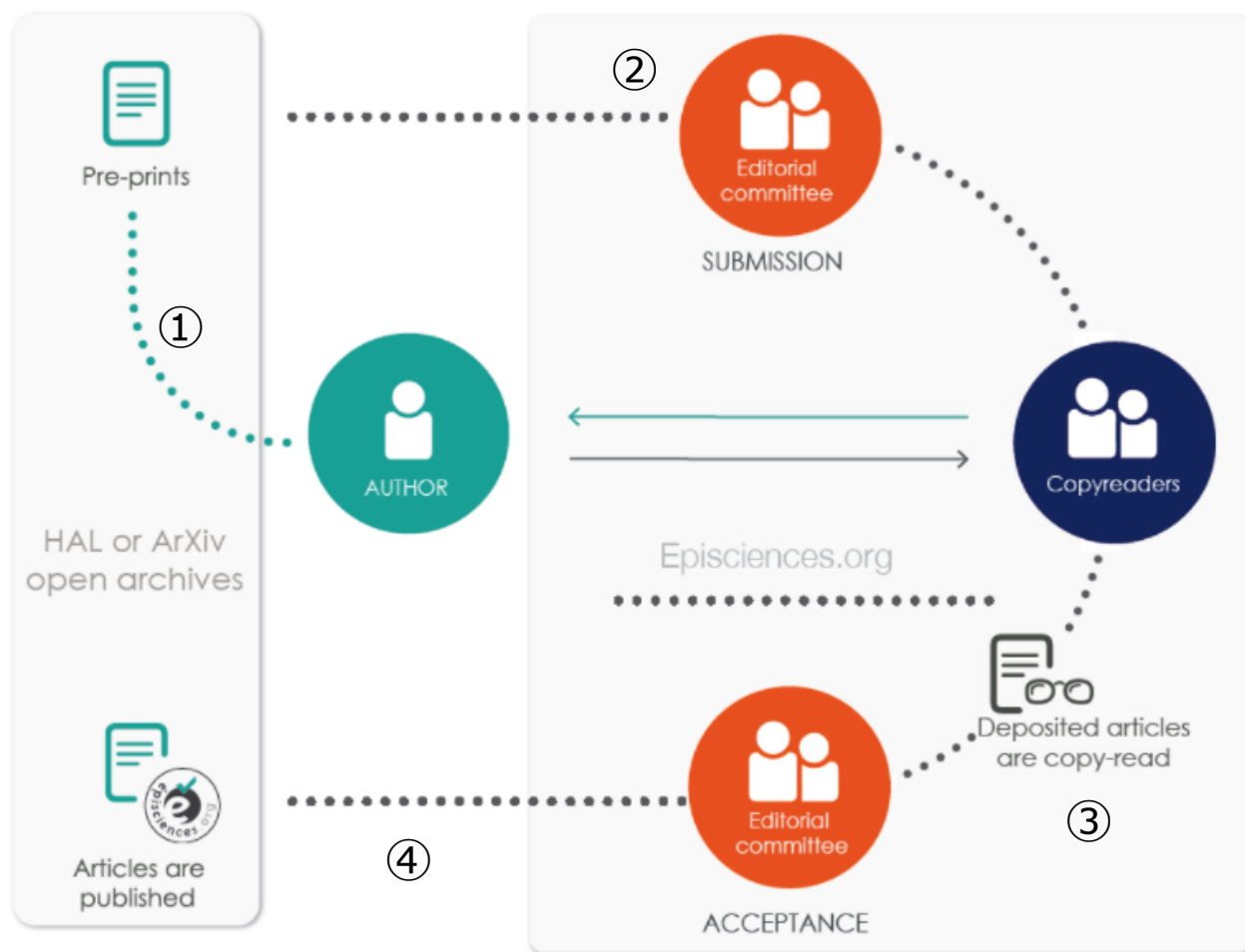
<https://discreteanalysisjournal.com/>

Episciences



<https://www.episciences.org/>

Episciences.org



- ① 著者はプレプリントを HAL（フランスの国立リポジトリ）またはarXivに登録
- ② 著者は Episciences.org の オーバーレイジャーナルにプレプリントを投稿
- ③ 編集・査読
- ④ 受理されるとHALまたは arXiv上で正式に出版される

Environnement, ingénierie & développement (Episciencesのオーバーレイジャーナルの一つ)



Environnement, ingénierie & développement



[Accueil](#)
[Dernières publications](#)
[Volumes](#)
[Rechercher un article](#)
[Instructions aux auteurs](#)
[Mon espace](#)

Djiyo Denis ; Mwebi Clautaire ; Manga Laurent ; Teougam Nicolas ; Harrag Abdelmalek *et al.* - ETAT DES LIEUX ET IMPACTS SOCIO-ENVIRONNEMENTAUX DE LA GESTION DES DECHETS HOSPITALIERS SOLIDES DANS LA VILLE DE YAOUNDE, CAPITALE DU CAMEROUN

eid:7206 - Environnement, Ingénierie & Développement, 22 février 2021, N° 84 - EID - <https://doi.org/10.46298/eid.2021.7206>

ETAT DES LIEUX ET IMPACTS SOCIO-ENVIRONNEMENTAUX DE LA GESTION DES DECHETS HOSPITALIERS SOLIDES DANS LA VILLE DE YAOUNDE, CAPITALE DU CAMEROUN

Auteurs : Djiyo Denis ; Mwebi Clautaire ; Manga Laurent ; Teougam Nicolas ; Harrag Abdelmalek ; Agokeng Dongmo ; Gisele Mélanie

Cet article présente l'état des lieux de la gestion des déchets hospitaliers (DH) solides dans la capitale du Cameroun ainsi qu'une appréciation des impacts socioenvironnementaux associés. Les travaux se sont déroulés suivant 4 axes majeurs : (i) aperçu global de la gestion des DHs solides dans cinq formations sanitaires (FOSAs) de la ville de Yaoundé, (ii) quantité de DHs solides produite dans chaque FOSA, (iii) mode de gestion employé dans les différentes FOSAs et (iv) impacts sociaux et environnementaux correspondants. L'observation de terrain et le dépouillement des données de l'enquête menée auprès du personnel médical et des usagers ont montré que l'ensemble des DHs solides produits dans les FOSAs sélectionnées regroupe les déchets ménagers (76,79%), pathologiques (12,43%), piquants et tranchants (9,58%), anatomiques (0,60%) et spéciaux (0,30%). Le système de gestion de ces déchets est encore à l'état embryonnaire du fait de l'absence d'un véritable plan de gestion des déchets, du manque d'information et de formation du personnel médical, du manque de personnels qualifiés en gestion des déchets mais aussi du manque de moyens financiers. En conséquence, on assiste à une mauvaise gestion des DHs solides, à chaque étape du processus de gestion des déchets, entraînant l'exposition des populations à de nombreux impacts sanitaires possibles. La pollution de l'environnement est également sensible du fait du dépôt des DHs sur le sol, leur transport par les eaux de ruissellement, mais aussi des émanations gazeuses résultant de leur décomposition.

<https://doi.org/10.46298/eid.2021.7206>

Source : oai:HAL:hal-03148684v1

Volume : N° 84 - EID

Publié le : 22 février 2021

Accepté le : 24 février 2021

Soumis le : 24 septembre 2020

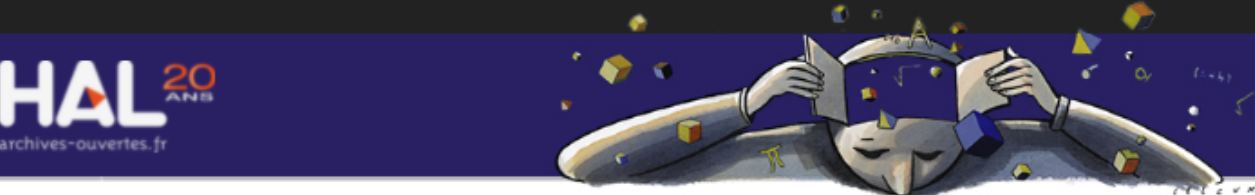
Mots-clés : Yaoundé, health centers, biomedical wastes, social and environmental impacts, biomedical waste management, Yaoundé, centres de santé, déchets hospitaliers solides, impacts socio-environnementaux, gestion des déchets hospitaliers solides, [SDE.IE] Environmental Sciences/Environmental Engineering

Télécharger le fichier

Visiter la page de l'article

<https://eid.episciences.org/7206>

HALの論文



Accueil Dépôt Consultation Recherche Documentation

hal-03148684, version 1 Article dans une revue

ETAT DES LIEUX ET IMPACTS SOCIO-ENVIRONNEMENTAUX DE LA GESTION DES DECHETS HOSPITALIERS SOLIDES DANS LA VILLE DE YAOUNDE, CAPITALE DU CAMEROUN

Djiyo Denis, Mwebi Clautaire¹, Manga Laurent, Teougam Nicolas, Harrag Abdelmalek, Agokeng Dongmo, Gisele Mélanie [Détails](#)

1 ASAIE - Association Scientifique Africaine pour l'Innovation et l'Entrepreneuriat

en Résumé : Cet article présente l'état des lieux de la gestion des déchets hospitaliers (DHs) solides dans la capitale du Cameroun ainsi qu'une appréciation des impacts socioenvironnementaux associés. Les travaux se sont déroulés suivant 4 axes majeurs : (i) aperçu global de la gestion des DHs solides dans cinq formations sanitaires (FOSAs) de la ville de Yaoundé, (ii) quantité de DHs solides produite dans chaque FOSA, (iii) mode de gestion employé dans les différentes FOSAs et (iv) impacts sociaux et environnementaux correspondants. L'observation de terrain et le dépouillement des données de l'enquête menée auprès du personnel médical et des usagers ont montré que l'ensemble des DHs solides produits dans les FOSAs sélectionnées regroupe les déchets ménagers (76,79%), pathologiques (12,43%), piquants et tranchants (9,58%), anatomiques (0,60%) et spéciaux (0,30%). Le système de gestion de ces déchets est encore à l'état embryonnaire du fait de l'absence d'un véritable plan de gestion des déchets, du manque d'information et de formation du personnel médical, du manque de personnels qualifiés en gestion des déchets mais aussi du manque de moyens financiers. En conséquence, on assiste à une mauvaise gestion des DHs solides, à chaque étape du processus de gestion des déchets, entraînant l'exposition des populations à de nombreux impacts sanitaires possibles. La pollution de l'environnement est également sensible du fait du dépôt des DHs sur le sol, leur transport par les eaux de ruissellement, mais aussi des émanations gazeuses résultant de leur décomposition.

en Mots-clés : Yaoundé centres de santé déchets hospitaliers solides impacts socio-environnementaux
fr gestion des déchets hospitaliers solides.

Type de document : Article dans une revue
Domaine : Sciences de l'environnement / Ingénierie de l'environnement

FICHER
a-2020-06-MWE-EID 1_epreuve au...
Fichiers produits par l'(les) auteur(s)

LICENCE

Distributed under a Creative Commons Paternité 4.0 International License

IDENTIFIANTS
• HAL Id : hal-03148684, version 1

CITATION
Djiyo Denis, Mwebi Clautaire, Manga Laurent, Teougam Nicolas, Harrag Abdelmalek, et al.. ETAT DES LIEUX ET IMPACTS SOCIO-ENVIRONNEMENTAUX DE LA GESTION DES DECHETS HOSPITALIERS SOLIDES DANS LA VILLE DE YAOUNDE, CAPITALE DU CAMEROUN. *Environnement, Ingénierie & Développement*, 2021, 1, pp.3-10. (hal-03148684v1)

<https://hal.archives-ouvertes.fr/hal-03148684v1>

COAR（オープンアクセスリポジトリ連合）の Pubfair

持続可能で分散型のオープンな出版フレームワーク

● 配信レイヤ

- ・ コミュニティチャンネル（分野コミュニティ向け）
- ・ 機関チャンネル（大学やFA向け）
- ・ 研究者チャンネル（研究者個人向け）

● 出版レイヤ

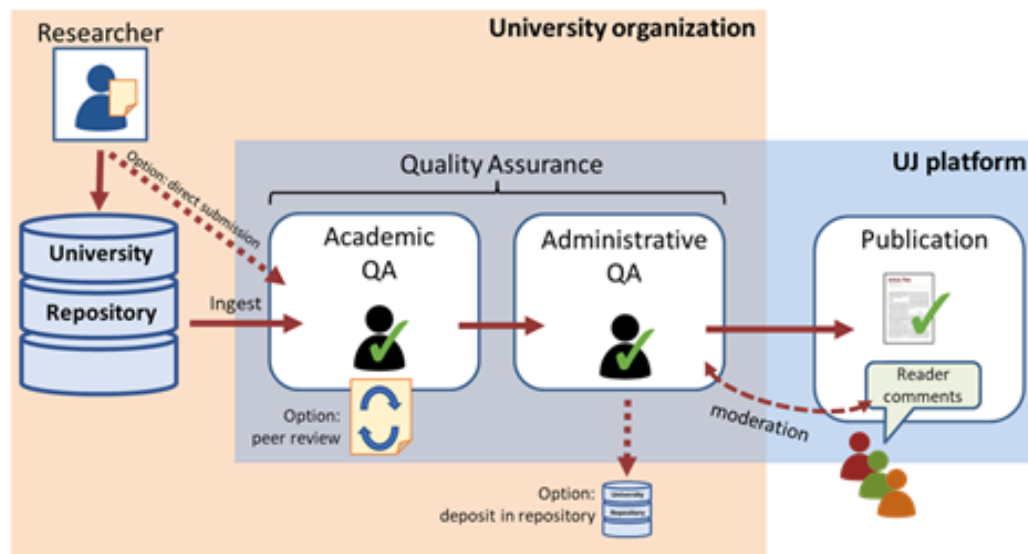
- ・ リポジトリレイヤの上位サービスとして、学術出版の主要な機能（投稿、編集ワークフロー、査読と評価、ソーシャルネットワーキング等）を提供する

● リポジトリレイヤ

- ・ 分散したリポジトリのグローバルネットワーク
- ・ **プレプリント**、データ、ソフトウェア、その他の成果物を蓄積して公開する

University Journals

欧州の14大学が共同で、現在のジャーナルシステムに代わる新たな学術出版エコシステムであるUniversity Journalsの取り組みを開始



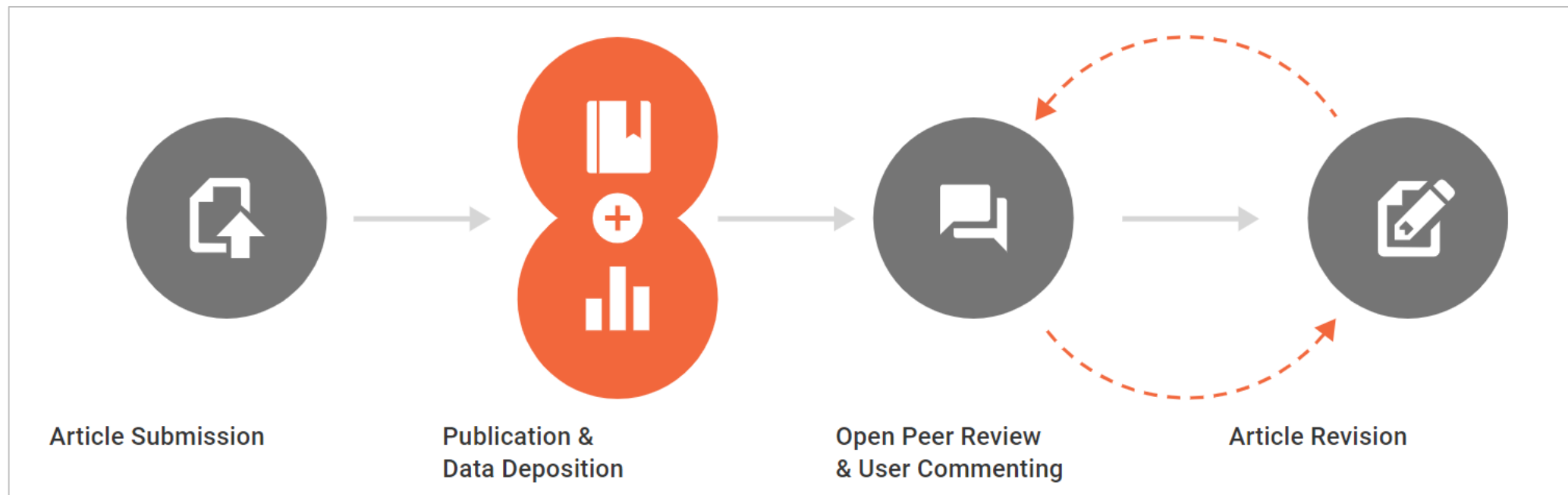
14大学のコンソーシアム



1. 研究者は、大学のリポジトリを介して、UJプラットフォームに論文を投稿する（直接投稿も可）
2. 投稿された論文は、大学による質の審査を受ける
3. 受理された論文は組版され、DOIを付与され、国際的な索引データベースに提供される
4. UJプラットフォームは、コメントオプションを提供することにより、出版後査読もサポートする

<https://web.archive.org/web/20190509163916/https://universityjournals.eu/index.php/for-universities/>

F1000Research



論文投稿

出版・データ登録
 投稿後1週間で論文
 と付随するデータを
 出版公開

オープンピアレビュー
 ・ユーザコメント

論文改訂
 レビュー後の改訂
 論文を登録
 主要な文献データベース
 に採録

- Open Research Europe (EC:欧州委員会)
- Wellcome 財団
- ゲイツ財団
- 筑波大学

プレプリントおよびプレプリントサービスの課題

プレプリントの質保証
プレプリントサービスの財政的な持続可能性

プレプリントの質保証

- プレプリントを査読するコミュニティのさまざまな取り組み
 - Review Commons
 - Rapid Reviews: COVID-19 (RR:C19)
 - PREREVIEW
 - eLife's Publish then Review model

Bal, Liz. Open and Faster Scholarly Communication in a Post-COVID World. Scholarly Kitchen, Jun 23, 2021.
<https://scholarlykitchen.sspnet.org/2021/06/23/guest-post-open-and-faster-scholarly-communication-in-a-post-covid-world/?informz=1>

プレプリントサービスの財政問題

- arXivの財務状況
 - 年間運営経費 約245万ドル (約2億7000万円)
 - 財源
 - コーネル大学 約90万ドル
 - 会費 約55万ドル
 - サイモンズ財団 約40万
 - その他 (寄付等) 約60万ドル
- OSF/COSの有料化の影響
 - 2020年から投稿数に応じた利用料を徴収することを決定
 - 複数のサービスの閉鎖 (INARxiv、IndiaRxiv、LawArXiv、MarXiv等)
- 商業出版社による買収
 - ElsevierによるSSRNの買収 (2016年)

出版社とプレプリント

Springer Nature社のIn Review

- 汎用プレプリントサービスであるResearch Squareに出資
- Aries（出版ワークフローシステム：投稿受付～編集～査読、出版）と連携
- Springer Nature社のジャーナルに投稿されたプレプリントをResearch Squareがホスト
- 著者は、投稿時にプレプリントをResearch Squareから公開するかどうかを選択できる
- 査読タイムラインを通じて原稿のステータスを知ることができる

This preprint is under consideration at *Journal of Molecular Neuroscience*. A preprint is a preliminary version of a manuscript that has not completed peer review at a journal. Research Square does not conduct peer review prior to posting preprints. The posting of a preprint on this

Journal of Molecular Neuroscienceに投稿中のプレプリントが Research Square上で閲覧できる

Construction of a Competitive Endogenous RNA Network Associated with Angiogenesis in Ischemic Stroke Using a Bioinformatics Approach

Jia Wang, Xuxiang Zhang, Yibo Xie, Jiachen Li, Xiaokun Wang, chunxiao yang

DOI: 10.21203/rs.3.rs-582200/v1 Download PDF

LICENSE: This work is licensed under a CC BY 4.0 License. Read Full License

Abstract

Ischemic stroke (IS) is one of the leading causes of death and disability worldwide, and angiogenesis is an important target for its treatment. However, the mechanism of angiogenesis of endogenous RNA (ceRNA) in IS remains poorly understood. This study aims to explore the role of ceRNA in the angiogenesis of IS, to provide a possible target for the treatment of IS. First, GSE22255 (mRNA), GSE55937 (miRNA) and GSE102541 (lncRNA) were downloaded from the Gene Expression Omnibus (GEO) database. Then, a total of 21 mRNA modules were identified by WGCNA analysis, among which NR4A1, PTGS2, ERG3, and VEGFA in cyan module were identified as key genes for angiogenesis. Subsequently, 1454

BADGES



PEER REVIEW TIMELINE

CURRENT STATUS: UNDER REVIEW

- Version 1
 - Posted 08 Jun, 2021
 - No community comments so far
 - Reviews received
 - Received 07 Jun, 2021
 - Reviewers invited
 - Invitations sent on 02 Jun, 2021
 - Editor assigned
 - On 02 Jun, 2021
 - First submitted
 - On 31 May, 2021

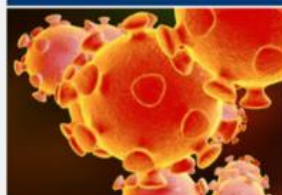
Elsevier社のFirstLook

- 2016年にSSRN（プレプリントサービス）を買収
- 2018年にAries Systems（出版ワークフローシステム）を買収
- SSRNとAriesを統合して、FirstLookを開発
- ジャーナルに投稿された原稿をSSRN上でプレプリントとして閲覧できるサービス

Tomorrow's Research Today

SSRN's eLibrary provides 950,733 research papers from 503,172 researchers in more than 60 disciplines.

View Coronavirus Related Research on SSRN



View Race & Social Inequity Research on SSRN



You can subscribe to our newsletter here >

Title, Abstract, Keywords & Authors



Advanced Search



Pride Month Research on SSRN

View the Research

First Look

Acta Materialia, Inc.

Cell Press Sneak Peek

Equity in STEM

Food Microbiology

Food Packaging and Shelf Life

Food Structure

Heliyon

Industrial Marketing Management

JACC: Basic to Translational Science

JACC: Clinical Electrophysiology

Journal of Archaeological Science

Journal of Business Research

Journal of Economic Dynamics and Control

Journal of the Economics of Ageing

Journal of Web Semantics

KeAi

NeuroImage: Clinical

Preprints with The Lancet



Environmental Science Research Network

View the Research

<https://www.ssrn.com/>

CellPress

Sneak Peek

A PREVIEW OF PAPERS UNDER REVIEW

Cell Press Sneak Peek

Cell Press Sneak Peek is an author on-tap preview of the papers under review in our primary research journals. An

Cell Press Sneak Peek Statistics

Cell Pressのジャーナルに投稿中のプレプリントがSSRN上で閲覧できる

DATE POSTED (click to see all Cell Press Sneak Peek papers sorted by DOWNLOADS)

Search within papers

Search

Displaying 1-50 of 4,292 papers



[Genetic Resiliency Associated With Dominant Lethal TPM1 Mutation Causing Atrial Septal Defect With High Heritability](#)

Number of pages: 60 • Posted 02 Jun 2021

Publication Status: **Under Review**

Polakit Teekakirikul, Wenjuan Zhu, Xinxiu Xu, Cullen Young, Tuantuan Tan, Amanda M. Smith, Chengdong Wang, Kevin A. Peterson, George C. Gabriel, Sebastian Ho, Yi Sheng, Anne Moreau de Bellaing, Daniel Sonnenberg, Jiuanne-huey Lin, Elisavet Fotiou, Gennadiy Tenin, Michael X. Wang, Yijun L. Wu, Timothy Feinstein, William

Downloads
8

Cell Press Journals on Sneak Peek

- All Journals (4292)
- Cancer Cell (65)
- Cell (373)
- Cell Chemical Biology (86)
- Cell Genomics (1)
- Cell Host & Microbe (110)
- Cell Metabolism (95)
- Cell Press Community (14)
- Cell Reports (1194)
- Cell Reports Medicine (76)
- Cell Reports Methods (26)
- Cell Reports Physical Science (38)
- Cell Stem Cell (113)
- Cell Systems (47)
- Chem (73)

Wiley社のUnder Review

- Wiley社が2016年に買収したAtypon社のプレプリントサービスであるAuthoreaを利用
- ScholarOne（出版ワークフロー）と連携
- 著者がプレプリントの投稿に同意すると、Authoreaにデポジット
- 査読のステイタスと最終的に出版されたかどうかの情報がプレプリント上に表示



Journal of Cardiac Surgeryに投稿中のプレプリントが Authorea上で閲覧できる

Effect of preoperative erector spinae muscles mass on postoperative outcomes in patients with left ventricular assist devices

ERECTOR SPINAE MUSCLES FRAILITY LEFT VENTRICULAR ASSIST DEVICE RISK FACTORS SARCOPENIA

Yukiharu Sugimura , Nihat Sipahi , Moritz Immohr, Esmay Yilmaz, Joel Aissa, Udo Boeken, Hug Aubin , Artur Lichtenberg, Payam Akhyari, Hannan Dalyanoglu

Abstract

Background: Frailty influences the postoperative outcomes in patients undergoing left ventricular assist device (LVAD) implantation; however, a quantitative evaluation method has

Peer review status: **UNDER REVIEW**

22 May 2021 Submitted to *Journal of Cardiac Surgery*

[Hide details](#)

22 May 2021 Assigned to Editor

22 May 2021 Submission Checks Completed

24 May 2021 Reviewer(s) Assigned

出版社のねらい

プレプリントサービス

+

出版ワークフローシステム
(投稿受付～編集・査読～出版)



プレプリントの段階から論文を管理

データベースとプレプリント

NIHプレプリント・パイロット

- 米国国立医学図書館（NLM）のプロジェクト
- 2020年6月にフェーズ1開始
- NIHの助成を受けたCOVID-19関連のプレプリントをPubMed Central（PMC）、さらにはPubMedから提供
- 対象となるプレプリントサービスに投稿されたNIHの初期の研究結果の発見性を高めるためのアプローチを検討することを目的
- ソースとなるプレプリントサービスは、medRxiv, bioRxiv, arXiv, ChemRxiv, Research Square, SSRN

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/labs/pmc/about/nihpreprints/>

パイロットの結果速報（フェーズ1の第4四半期終了時点）

- 約2,500件のプレプリントレコードがPMCに追加され、PubMedで検索可能に
- 半数は、medRxivに投稿されたプレプリント
- PMCでのプレプリントレコードの閲覧回数は180万回を超える
- 関連するプレプリントのメタデータとアブストラクトはPubMedで約150万回閲覧された
- PMCおよびPubMedのプレプリントの約44%が、ジャーナルで出版
- パイロット版に含まれるプレプリントが引用された回数は約12,000回

https://www.ncbi.nlm.nih.gov/core/assets/pmc/files/NIHPPQ4SummaryReport_20210721.pdf

Scopusとプレプリント

- 2021年1月、著者プロフィールページにプレプリント文献のデータを追加
- 追加されたプレプリント文献は、arXiv、bioRxiv、ChemRxiv、medRxivから取得
- 2017年以降に発表された文献を各運営者のポリシーに従って取得
- 2021年中に、社会科学分野の主題リポジトリSSRNのデータ追加を予定
- プレプリントに対する引用やプレプリントからの引用は指標の算出対象から除外されるため、被引用数やh-indexの数値などには影響しない

<https://blog.scopus.com/posts/preprints-are-now-in-scopus>

Dimensionsとプレプリント

- プレプリントの検索可能
- ページの左側にある "publication type" フィルターで利用できる出版物の1つとして含まれている
- arXiv、SSRN Electronic Journal、bioRxiv、ChemRxiv、PeerJ Preprints、Nature Precedings などのプレプリントを収録

The screenshot shows the Dimensions website interface. The search bar contains 'e.g. plastic AND instrument'. The left sidebar has a 'FILTERS' section with 'PUBLICATION TYPE' expanded, showing a list of publication types with their counts. The 'Preprint' category is highlighted with a red box, showing a count of 2,836,386. The main content area displays a list of publications, with the first one being 'Inhibitory Control Across Athletic Expertise and Its Relationship With Sport Performance.' The right sidebar shows 'ANALYTICAL VIEWS' and 'RESEARCH CATEGORIES'.

PUBLICATIONS	DATASETS	GRANTS	PATENTS
122,560,948	10,962,190	5,966,565	140,789,962
CLINICAL TRIALS	POLICY DOCUMENTS		
674,642	743,138		

RESEARCH CATEGORIES	Count
11 Medical and Health Sciences	31,058,500
09 Engineering	12,698,790
1103 Clinical Sciences	11,499,644
06 Biological Sciences	9,287,662
03 Chemical Sciences	8,076,006

Publication Type	Count
Article	99,959,382
Chapter	11,622,658
Proceeding	6,750,227
Preprint	2,836,386
Monograph	827,692
Edited Book	564,310

Publication Details:

Inhibitory Control Across Athletic Expertise and Its Relationship With Sport Performance.
 Jack Hagyard, Jack Brimmell, Elizabeth J Edwards, Robert S Vaughan
 2021, Journal of Sport and Exercise Psychology - Article
 Inhibitory control may be vital in elite sport. The authors examined the link between athletic expertise, inhibitory control, and sport performance in a two-part quasi experiment. Inhibitory control w... [more](#)

Metrics: Citations 5, Altmetric 6, Open Access, Add to Library

<https://www.digital-science.com/product/dimensions/>

<https://rcos.nii.ac.jp/>
ojiro@nii.ac.jp